

診療局：泌尿器科

－スタッフ－

役 職	スタッフ名
部 長	萩野 恵三
医 長	森山 泰成
医 長	西澤 哲
医 員	佐々木 有見子

－概要－

2014年はスタッフの異動はなかった。佐々木医師は2013年8月から産休後育休を継続しており、実質3名で業務を担当した。泌尿器科は近隣に入院可能な施設が少なく、患者さんが当施設に集中する傾向がみられる。外来診療においては紹介状を持参した予約外診療の患者さんが多数受診されるため、対応に苦慮することが多かった。現在は予約外受診も可能な限り診療しているが、現状のマンパワーでは限度があり今後の泌尿器科予約外診療を見直す必要に迫られる可能性がある。

2014年の泌尿器科外来患者数は1日70名、入院患者数は552名/年(内訳:男性441名 女性111名)であった。泌尿器科の病棟ベッド数は2009年から変わらず17床である。当科で2014年に施行した手術の詳細は以下の表を参考にさせていただきたい。主な手術は膀胱全摘除術＋回腸導管造設術6件、腹腔鏡手術(副腎、腎、腎尿管)12件、根治的前立腺全摘除術50件、経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR-Bt)80件、経尿道的尿管結石砕石術(TUL)82件などであった。

少子高齢化が急激に進行している状況下では、泉州地域においても泌尿器がんや尿路結石をはじめとする泌尿器科疾患の治療需要が増加すると予想される。

数多くの手術実績を地道に積み重ねていくことにより、地域社会に貢献していきたいと考える。

－実績－

＜手術件数＞

一般的な手術

	2012	2013	2014	平均
① 副腎、腎、後腹膜の手術 () 内は腹腔鏡下・腹腔鏡下小切開・ロボット支援での例数				
副腎摘除術	0(1)	0(1)	0(3)	0(1.6)
単純腎摘除術	1(0)	2(0)	1(1)	1.3(0.3)
根治的腎摘除術	5(1)	3(5)	4(8)	4(4.6)
腎部分切除術	6(0)	5(0)	2(0)	4.3(0)
腎尿管全摘除術	6(0)	15(0)	9(0)	10(0)
腎盂形成術	0(0)	1(0)	0(0)	0.3(0)
経皮的腎瘻造設術	3	0	0	1
後腹膜リンパ節郭清術	1(0)	0(0)	1(0)	0.6(0)
② 尿管、膀胱の手術 () 内は腹腔鏡下・腹腔鏡下小切開での例数・ロボット支援での例数				
経尿道的膀胱腫瘍切除術(TURBT)	99	98	80	92.3
経尿道的膀胱砕石術	8	11	18	12.3
経尿道的膀胱異物除去術	0	0	1	0.3
膀胱瘻造設術	0	0	0	0
膀胱部分切除術	4(0)	10(0)	5(0)	6.3(0)
膀胱全摘除術	6(0)	14(0)	6(0)	8.6(0)
膀胱水圧拡張術	2	0	1	1
③ 前立腺、尿道の手術				
経尿道的前立腺切除術 (TURPおよびレーザー手術を含む)	55	51	25	43.6
前立腺被膜下摘除術	2	2	1	1.6
開腹前立腺全摘除術	62	35	50	49
腹腔鏡下前立腺全摘除術	0	0	0	0
ロボット支援前立腺全摘除術	0	0	0	0
経尿道的内尿道切開術	7	4	6	5.6
尿道拡張術	2	3	2	2.3
④ 陰嚢内容臓器、陰茎の手術				
精巣固定術	7	2	8	5.6
精索捻転手術	2	2	2	2
精巣摘除術 (高位精巣摘除を含む)	7	7	13	9
陰嚢水腫根治術	6	9	6	7
その他の陰嚢内容および陰茎の手術	10	20	13	14.3

専門的な手術

	2012	2013	2014	平均
① 腎移植・透析関連の手術 (開放 及び腹腔鏡手術を含む)	0	0	0	0
② 小児泌尿器関連の手術 (精巣固定術を除く)	0	0	0	0
③ 女性泌尿器関連の手術	5	3	0	2.6
④ E D、不妊関連の手術	2	0	0	0.6
⑤ 結石関連の手術	259	163	143	188.3
⑥ 神経泌尿器・臓器再建関連の手術	9	18	7	11.3